

2012年12月25日

各位

日本特殊陶業株式会社

スパークプラグ用絶縁体工場の起工式を開催

日本特殊陶業株式会社（社長：尾堂真一、本社：名古屋市瑞穂区）は本日、スパークプラグ用絶縁体の工場起工式を、工場建設予定地（岐阜県可児市二野）にて開催しました。

起工式には、富田成輝可児市長をはじめ、地元関係者、工事関係者、日本特殊陶業グループ関係者など約40名が参列し、工事の安全を祈願しました。

起工式で会長の加藤倫朗は、「この新工場は、日本特殊陶業グループの主力製品であるスパークプラグの基幹部品である絶縁体の工場として、国内はもちろん世界各地の工場へ供給する重要な拠点となります。世界 No.1 のシェアをさらに伸ばし、その優位性を確固たるものにするため新工場にかかる期待は非常に大きなものがあります。安全第一に無事故で工事が遂行されますことを心からお願い申し上げます。」と挨拶しました。

なお、この絶縁体新工場は、製造子会社である『株式会社東濃セラミック』の工場として運営してまいります。新工場は2014年4月から操業を開始し、その後段階的に生産能力を向上させる予定です。

新工場の概要

- (1) 名称：株式会社東濃セラミック 二野工場
- (2) 所在地：岐阜県可児市二野工業団地内
- (3) 生産品目：スパークプラグ用絶縁体
- (4) 生産能力：1,350万本/月（第1次）
- (5) 延床面積：工場棟 約53,000㎡
- (6) 操業開始：2014年4月から段階的に操業
- (7) 投資金額：約280億円（建屋、第1次設備）

以上

[お問い合わせ先]

総務部広報課 抱井 佑樹

電話：052-872-5896

(参考資料) 二野工場 完成予想図
鳥瞰イメージ



外観イメージ

